

北畠氏の滅亡～年表

北畠氏

南北朝時代

北畠親房（1293～13554）
北畠顕信により田丸城が作られた

1336 年 北畠顕信（初代） 伊勢国司に任官

室町時代

1553 年 北畠具教（8 代） 伊勢国司に任官

1560 年 織田信長、桶狭間の合戦で今川氏に勝利

1567 年 信長、伊勢国への侵攻を始める

1568 年 信長、足利義昭と上洛する

1569 年 弟の木造具政が織田信長に寝返り戦況不利

8 月、**大河内城の戦い**始まる 織田 1 万 6 千、北畠 8 千人

阿坂城（白米城）は木下秀吉により落城する

10 月、和睦 織田信長の次男織田信雄を養子とする

1570 年 **北畠具教は三瀬の館に隠居**

姉川の戦い、浅井氏を破る

1571 年 比叡山を焼き討ちする

1573 年 三方ヶ原の戦い

足利義昭を京都から追放する

1575 年 次男の織田信雄、伊勢国司となる

長篠の戦い、織田と徳川、武田軍に勝利する

1576 年 **三瀬の変** 北畠具教、織田信長の刺客に暗殺される

安土桃山時代

※諸説あり 1568 年頃からを安土桃山時代という人もいる

1582 年 **本能寺の変** 織田信長、明智光秀に暗殺される

1584 年 小牧・長久手の戦い、織田信雄と徳川家康は

豊臣秀吉に勝利する

1588 年 徳川家康、豊臣秀吉に忠誠を誓う、豊富政権樹立

1600 年 **関ヶ原の戦い**、徳川家康、西軍に勝利

1603 年 家康、征夷大將軍に任命される、江戸に幕府をひらく

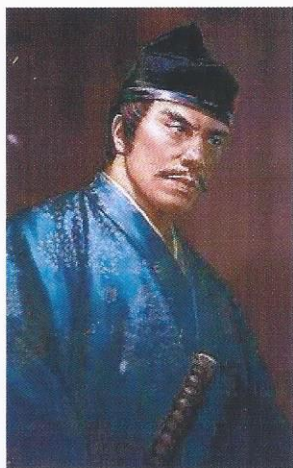
江戸時代

1615 年 **大坂の陣**、徳川家康、豊臣氏を滅亡させる

織田信長



徳川家康



北畠具教 1528 年～1576 年 12 月 15 日

戦国時代では数少ない公家大名のひとり「北畠具教」（きたばたけ ともりの）。朝廷から伊勢国（現在の三重県北中部）の統治を託された「国司」（こくし）を務め、北畠氏の最盛期を築いた人物です。大名として華々しい活躍を遂げた一方、北畠具教には剣豪としての顔も持ち合わせていました。「塚原卜伝」（つかはら ぼくでん）に師事して、秘剣「一之太刀」（ひとつのたち）を伝授された他、「上泉信綱」（かみいずみ のぶつな）や「柳生宗厳」（やぎゅうむねよし）とも親交を持ち、当時の剣豪達の間では知らない者はいないほど剣術界における中心的役割を担っていたのです。しかし、「織田信長」との戦いに敗れ、悲劇的な最期を迎えます。